

## 平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 創通

コード番号 3711 URL <http://www.sotsu-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 建彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 出原 隆史

TEL 03-3248-0311

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	13,710	27.8	2,381	81.3	2,411	80.6	1,310	92.4
23年8月期第3四半期	10,727	14.0	1,313	18.5	1,335	15.7	680	△6.6

(注) 包括利益 24年8月期第3四半期 1,346百万円 (65.0%) 23年8月期第3四半期 815百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	166.00	—
23年8月期第3四半期	83.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第3四半期	17,139	13,449	76.9
23年8月期	15,868	12,492	77.4

(参考) 自己資本 24年8月期第3四半期 13,184百万円 23年8月期 12,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年8月期	—	0.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成24年8月期(予想)配当金の内訳 普通配当30円00銭、特別配当15円00銭

### 3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	19.0	2,700	56.6	2,750	56.5	1,400	50.2	177.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期3Q	8,000,000 株	23年8月期	8,200,000 株
② 期末自己株式数	24年8月期3Q	162,711 株	23年8月期	262,655 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期3Q	7,891,867 株	23年8月期3Q	8,137,979 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しておりますが、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年9月1日～平成24年5月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け大きく低下した企業の生産活動が徐々に回復傾向をみせているものの、欧州の債務危機に起因する円高が輸出環境を悪化させていること及び長期にわたりデフレ基調の経済環境が継続していること等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、中核事業であるアニメーション番組のプロデュースにおいて、より良い作品の企画・放送枠の提案により、新たなスポンサー開拓を含めた営業活動に注力するとともに、新たな二次利用の市場を開拓し、アニメーションキャラクターの著作権ビジネスを拡大するという方針のもと、事業展開を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,710百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益2,381百万円（前年同期比81.3%増）、経常利益2,411百万円（前年同期比80.6%増）、四半期純利益1,310百万円（前年同期比92.4%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### （メディア事業）

メディア事業におきましては、10月よりスタートした大型プロジェクト「機動戦士ガンダムAGE(エイジ)」に係る放送事業及び関連するキャラクターグッズの販促・プロモーションに注力するとともに、4月スタートの「這いよれ！ニャル子さん」「咲-Saki- 阿知賀編」等の新作アニメーション番組をプロデュースいたしました。さらに継続番組である「それいれ!アンパンマン」「カードファイト!!ヴァンガード」シリーズ、「ジュエルペット」シリーズ、「探偵オペラ ミルキィホームズ」シリーズ等のプロデュース・取扱を行う等、中核のアニメ事業が順調に推移したことが、メディア事業の売上高及び利益の伸長に貢献いたしました。

また、キャラクターグッズ、特にゲーム関連のテレビスポットCM及びプロモーションの受注が好調であったこと、子会社株式会社ジェイ・ブロードにおいて新卒採用広告収入及び同社の強みである“めでいしーん”事業が好調に推移し、前年同期に比べ売上高のみならず、収益性が大幅に改善いたしました。

この結果、メディア事業の売上高は9,682百万円（前年同期比25.5%増）、営業利益841百万円（前年同期比163.2%増）となりました。

#### （ライセンス事業）

ライセンス事業におきましては、「ガンダム」シリーズにおいて家庭用ゲームソフト、アーケードゲーム、ソーシャルゲームに係る著作権収入が大幅に増加したこと及び4月に開業した「ガンダム フロント 東京」等の影響により“First GUNDAM”の商品化・販促キャンペーンの著作権収入が増加したことが、前年同期の売上高を上回る主な要因となっております。

また、「ガンダム」シリーズ以外でも昨年放送の「花咲くいろは」「ゆるゆり」の著作権収入及び「カードファイト!!ヴァンガード」シリーズ、「咲」シリーズ等放送中の著作権収入が好調に推移し、売上高増加の要因となっております。

この結果、ライセンス事業の売上高は2,971百万円（前年同期比59.4%増）、営業利益1,526百万円（前年同期比57.1%増）となりました。

#### （スポーツ事業）

スポーツ事業におきましては、スポーツに係る番組の取扱が減少し、前年同期に比べ売上高及び営業利益が減少しております。

この結果、スポーツ事業の売上高は1,055百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益78百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 〈資産、負債及び純資産の状況〉

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,270百万円増加し、17,139百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加579百万円及び売上債権の増加210百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ313百万円増加し、3,690百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加388百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ956百万円増加し、13,449百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加825百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月20日に公表いたしました通期の連結業績予想について、次の通り再修正いたします。

中核事業であるアニメーション番組のプロデュース事業において、制作出資に伴う製作委員会の組成が期初計画の10作品から14作品に、取扱を含めたプロデュース作品数は映画を含め期初計画の15作品から16作品になる等予想を上回り順調に推移いたしました。さらに、それらの作品のうち、「咲-Saki-」「ジュエルペット」「カードファイト!!ヴァンガード」「ゆるゆり」等その後シリーズ化されるヒット作品が増加したことにより、収益性の向上に繋がり、好循環のもとアニメーション事業を展開することが出来ました。

また、ライセンス事業に関し、主力の「ガンダム」シリーズにおいて、家庭用ゲームソフト、アーケードゲーム、ソーシャルゲームの利用が相乗効果により増加し、当該著作権収入が予想を上回り推移いたしました。さらに「ガンダム」シリーズ以外のキャラクターについても、商品化等に係る著作権収入が予想を上回る見通しです。

この結果、当社グループの売上高は、平成24年2月20日時点の予想を上回る18,000百万円と予想しております。売上高の増加に伴い、営業利益は2,700百万円、経常利益は2,750百万円、当期純利益は1,400百万円とそれぞれ平成24年2月20日時点の予想を上回る見通しとなり、連結業績予想について修正を行うものであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,930,259	11,509,289
受取手形及び売掛金	2,292,339	2,502,622
商品	205	366
仕掛品	12,110	4,237
貯蔵品	4,864	5,292
繰延税金資産	55,121	72,897
その他	90,122	315,602
貸倒引当金	△7,010	△7,610
流動資産合計	13,378,012	14,402,698
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	52,216	49,452
車両運搬具（純額）	1,079	674
工具、器具及び備品（純額）	13,051	11,445
土地	322,711	322,711
有形固定資産合計	389,060	384,284
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,723	1,450,962
繰延税金資産	266,964	237,071
その他	287,523	608,281
貸倒引当金	△1,180	—
投資その他の資産合計	2,037,030	2,296,315
固定資産合計	2,490,639	2,736,738
資産合計	15,868,651	17,139,437

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,365,484	2,265,027
未払法人税等	297,864	686,074
賞与引当金	34,200	30,105
その他	189,064	230,709
流動負債合計	2,886,614	3,211,915
固定負債		
退職給付引当金	69,702	71,126
その他	419,874	406,996
固定負債合計	489,577	478,123
負債合計	3,376,191	3,690,038
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	414,750	414,750
資本剰余金	391,240	391,240
利益剰余金	11,911,330	12,736,890
自己株式	△300,224	△200,455
株主資本合計	12,417,095	13,342,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△136,124	△157,865
その他の包括利益累計額合計	△136,124	△157,865
少数株主持分	211,490	264,840
純資産合計	12,492,460	13,449,398
負債純資産合計	15,868,651	17,139,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
売上高	10,727,055	13,710,117
売上原価	8,778,074	10,683,755
売上総利益	1,948,981	3,026,362
販売費及び一般管理費	635,340	644,643
営業利益	1,313,641	2,381,718
営業外収益		
受取利息	518	412
受取配当金	18,437	10,820
持分法による投資利益	8,703	—
匿名組合投資利益	5,188	6,346
投資事業組合運用益	7,249	13,615
その他	4,783	5,865
営業外収益合計	44,880	37,060
営業外費用		
支払手数料	3,204	2,509
上場関連費用	6,817	4,564
災害義援金	13,000	—
その他	32	170
営業外費用合計	23,054	7,243
経常利益	1,335,466	2,411,535
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,086	—
投資有価証券売却益	1,550	627
特別利益合計	14,636	627
特別損失		
固定資産除却損	6,590	940
投資有価証券売却損	107,142	36,248
投資有価証券評価損	2,178	856
会員権売却損	—	500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,120	—
特別損失合計	117,031	38,545
税金等調整前四半期純利益	1,233,072	2,373,617
法人税、住民税及び事業税	469,725	998,620
法人税等調整額	46,545	7,191
法人税等合計	516,270	1,005,811
少数株主損益調整前四半期純利益	716,801	1,367,806
少数株主利益	35,818	57,761
四半期純利益	680,982	1,310,044



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	716,801	1,367,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,949	△21,684
その他の包括利益合計	98,949	△21,684
四半期包括利益	815,750	1,346,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780,037	1,288,303
少数株主に係る四半期包括利益	35,712	57,817

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,713,874	1,864,048	1,149,133	10,727,055	—	10,727,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,713,874	1,864,048	1,149,133	10,727,055	—	10,727,055
セグメント利益	319,654	972,150	93,085	1,384,890	△71,249	1,313,641

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,249千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア事業	ライツ事業	スポーツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,682,242	2,971,940	1,055,934	13,710,117	—	13,710,117
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,682,242	2,971,940	1,055,934	13,710,117	—	13,710,117
セグメント利益	841,381	1,526,828	78,539	2,446,749	△65,030	2,381,718

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,030千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、平成24年1月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得することを決議し、当第3四半期連結累計期間において普通株式100,000株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が146,501千円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、平成24年2月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を消却することを決議し、平成24年2月27日付で普通株式200,000株を消却しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ246,363千円減少しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。